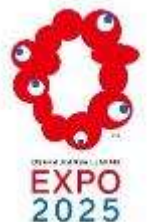




福島区将来ビジョン (素案)

お子さんからお年寄りまで、
これからも住み続けたいまち 福島区
～人と人がつながる安全・安心なまちづくり～

※令和3年11月1日時点において、令和2年の国勢調査の詳細な集計結果が公表されていないため、一部の数値は暫定値となっています。今後、確定値に変更を予定しています。



はじめに

福島区は、過去20年に渡って人口が増加傾向にあり、それに伴って区民の行政に対するニーズや、生活環境に対する価値観が多様化してきました。

一方で、情報通信技術の飛躍的な発展に伴う産業構造の変化や大阪・関西万博開催等に関連する各種開発事業、いわゆるウィズコロナ時代における新たな生活様式の模索など、我々を取り巻く社会的な環境も目まぐるしく変わりつつあります。

加えて、近い将来に発生が予測される南海トラフ巨大地震などの大規模災害への対応など、大小様々な課題が複雑に絡み合う現代において、安全・安心なまちづくりを実現する鍵は「人と人とのつながり」だと考えています。

この「福島区将来ビジョン」は、「SDG s (持続可能な開発目標)」の理念の下、令和4年度から概ね4年間の福島区のめざすべき姿についてまとめたものです。人と人とがつながり、福島区が「お子さんからお年寄りまで、これからも住み続けたいまち」となるよう取り組んでまいります。

福島区長 深津 友剛

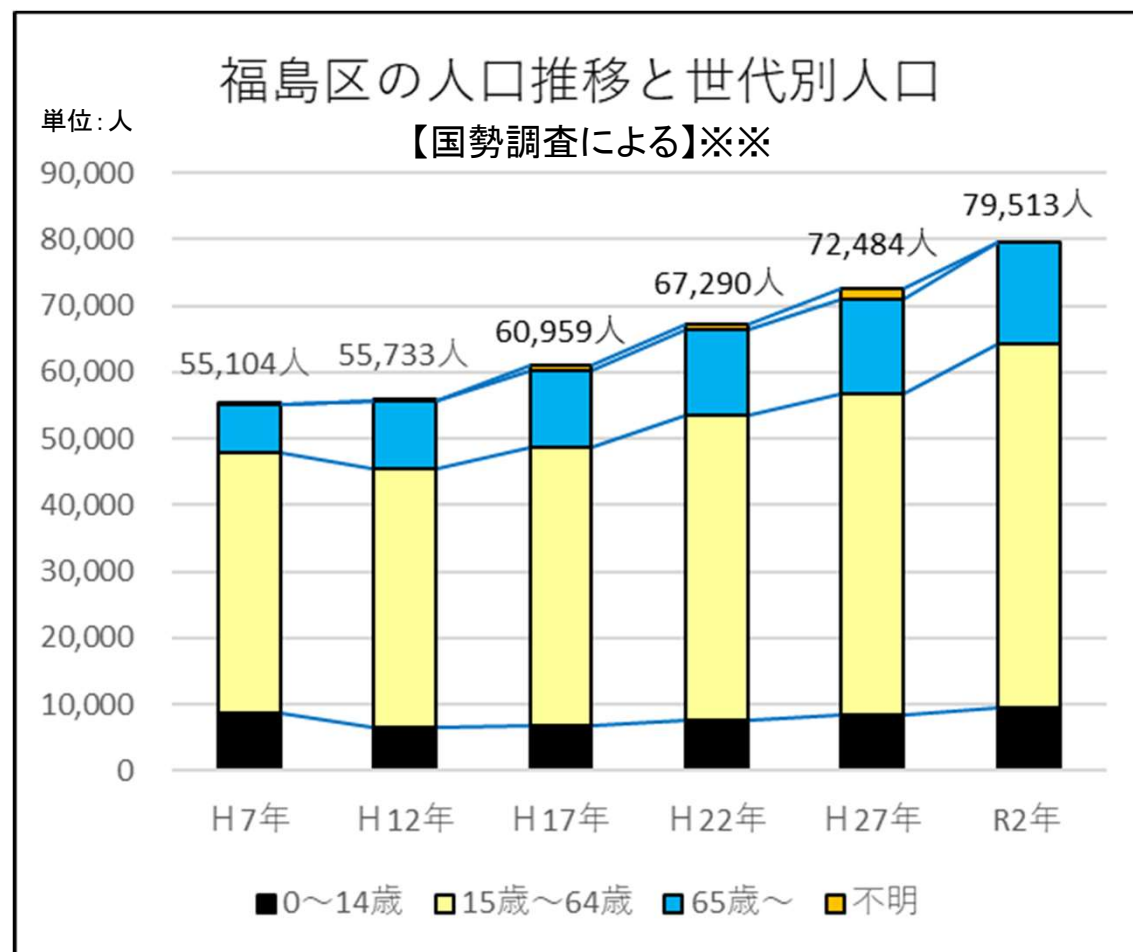
I 福島区の現状と課題

1 人口

福島区の人口は、国勢調査の結果からも分かるように年々増加しており、令和3年の推計人口では8万人前後で推移しています。

近年、複数の大型マンション建設に伴い、若年世代が増加していることから、大阪市の中では65歳以上の人口割合が少ない区となっています(※)。

※大阪市全体では65歳以上の人口割合は25.7%、福島区は同19.3%です。



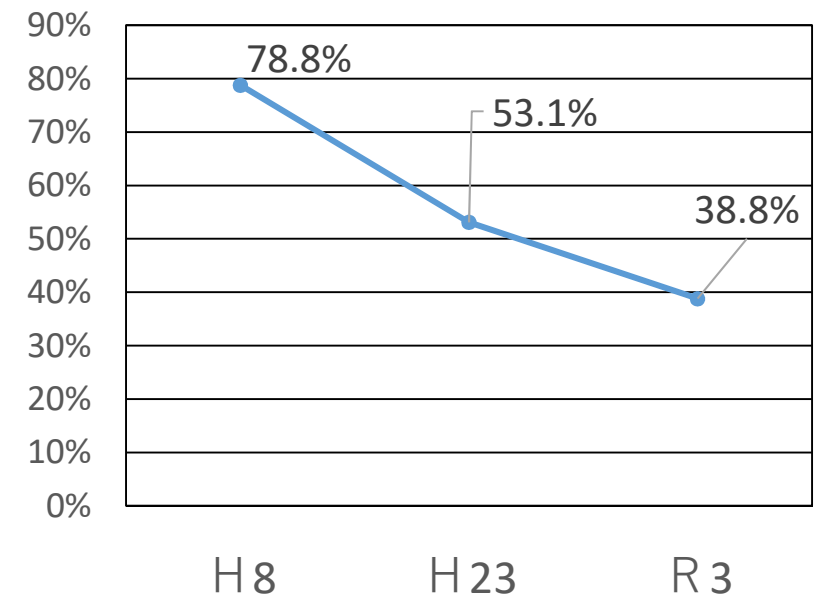
※※令和2年度の国勢調査結果は集計中のため、暫定値として大阪市都市計画局の令和2年10月1日時点の推計人口を記載しています。

2 地域コミュニティの希薄化

福島区では、マンション等の共同住宅にお住まいの方の割合が約8割に昇る一方、古くからお住まいの方も多くいらっしゃるため、個人の生活様式や価値観の多様化を背景に、地域コミュニティが希薄化しがちであり、災害発生時などには地域の「自助」「共助」の機能が十分発揮されるかが懸念されます。

【参考】

福島区における
地域振興会加入率



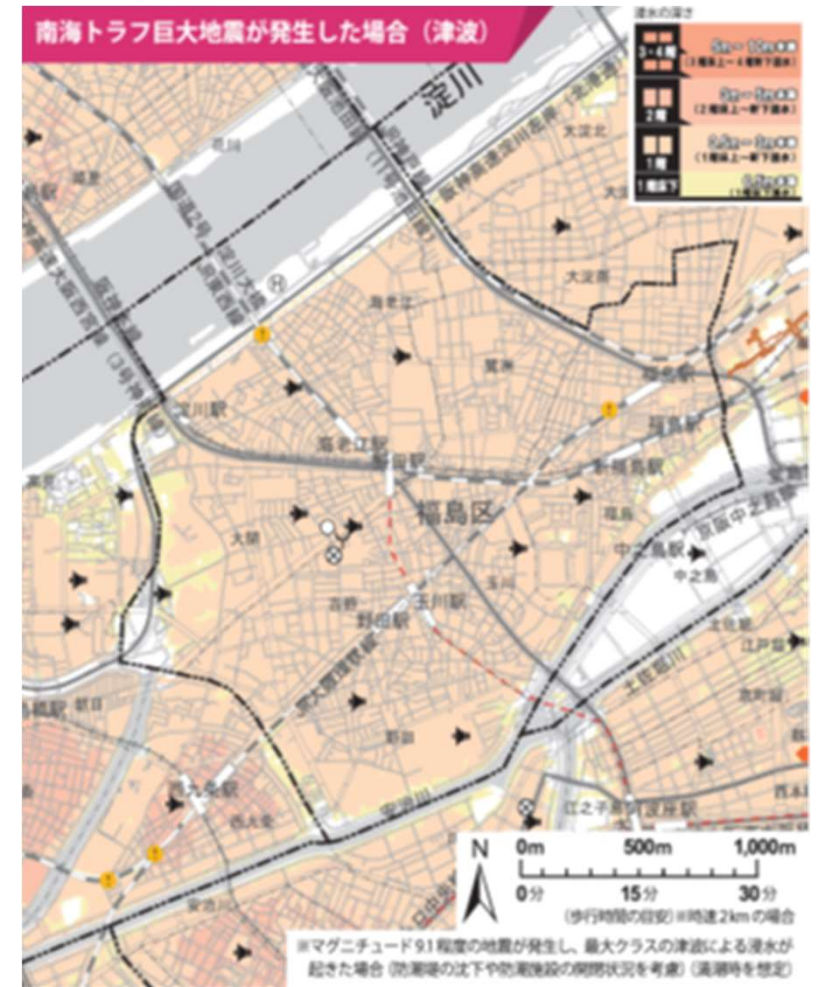
※R3年の数値は速報値

※※R3年における24区平均加入率は48.8%

3 福島区における津波等による浸水の被害

福島区では、淀川の氾濫、内水氾濫、南海トラフ巨大地震による津波浸水（大阪市に最短で約110分後に到達）が想定されています。

大雨(枚方上流域で24時間に360ミリの降雨想定)により淀川が氾濫した場合は最大5.1メートル、南海トラフ巨大地震が発生した場合は最大3メートルまで浸水すると想定されています。



（出典：「水害ハザードマップ（福島区）」大阪市危機管理室作成）

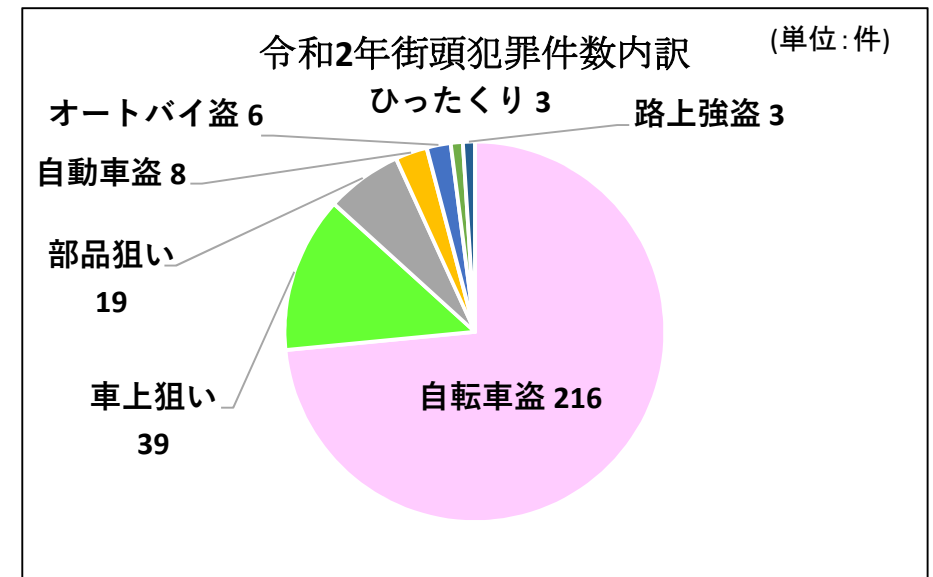
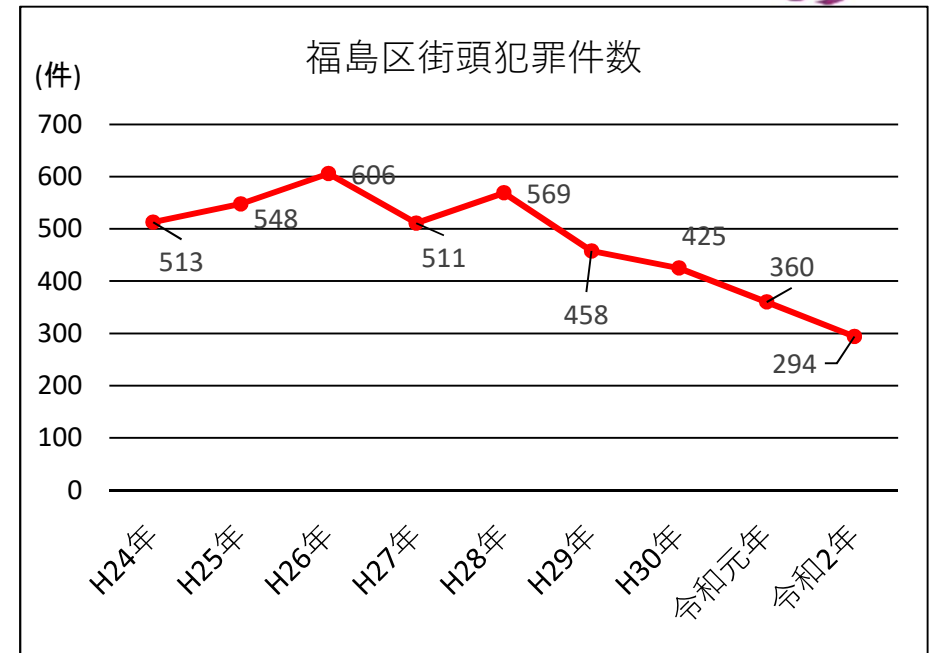


4 街頭犯罪

区内の街頭犯罪は、平成28年から令和2年まで減少傾向となっています。

当区では街頭犯罪7手口のうち自転車盗の件数が大半を占めており、令和2年は全発生件数のうち約7割を占めています。

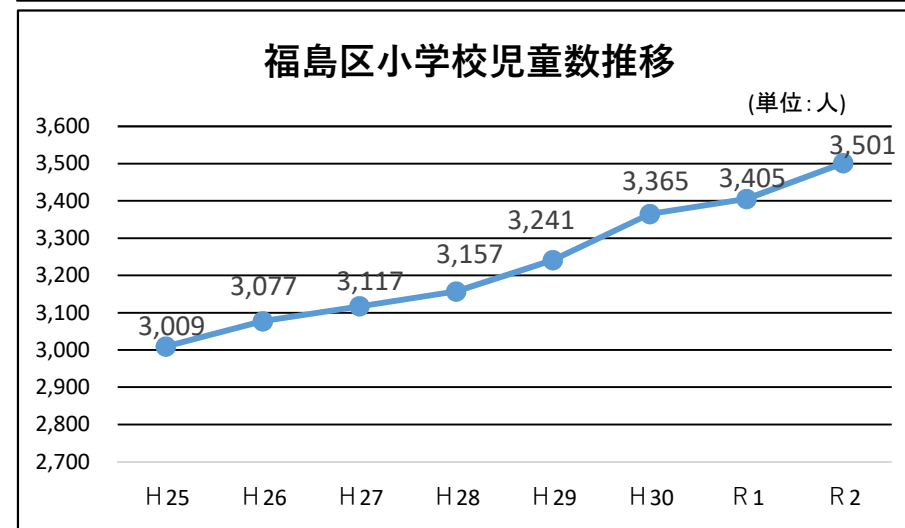
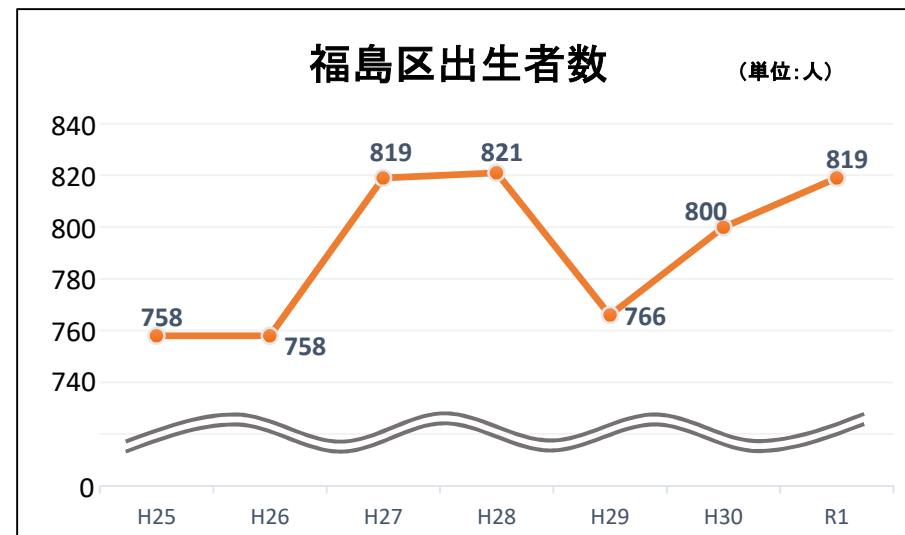
さらなる街頭犯罪の減少と抑止に向けた取組が必要です。



5 子育て世帯の増加

福島区では、近年子育て世帯の転入が増え、出生数も増加傾向にあることから、保育所等のニーズが高まっています。また、少子化により、子どもに接する経験が少ない保護者、子育て等の不安を相談できる相手が身近にいない保護者が増えています。

さらに、福島区では児童・生徒数が増加傾向にあり、適正な学習環境の確保が課題となっています。



【学校基本調査による】

6 区の教育行政

教育行政に関して大阪市では、「ニア・イズ・ベター」（補完性・近接性の原理）に基づき、地域に身近な区が教育委員会とともに、保護者・区民等の声をくみ取りながら、施策を実施する分権型教育行政を進めています。

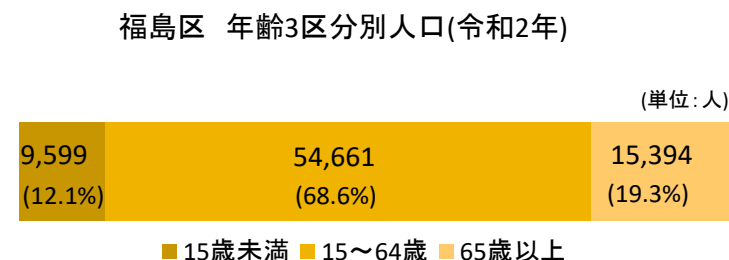
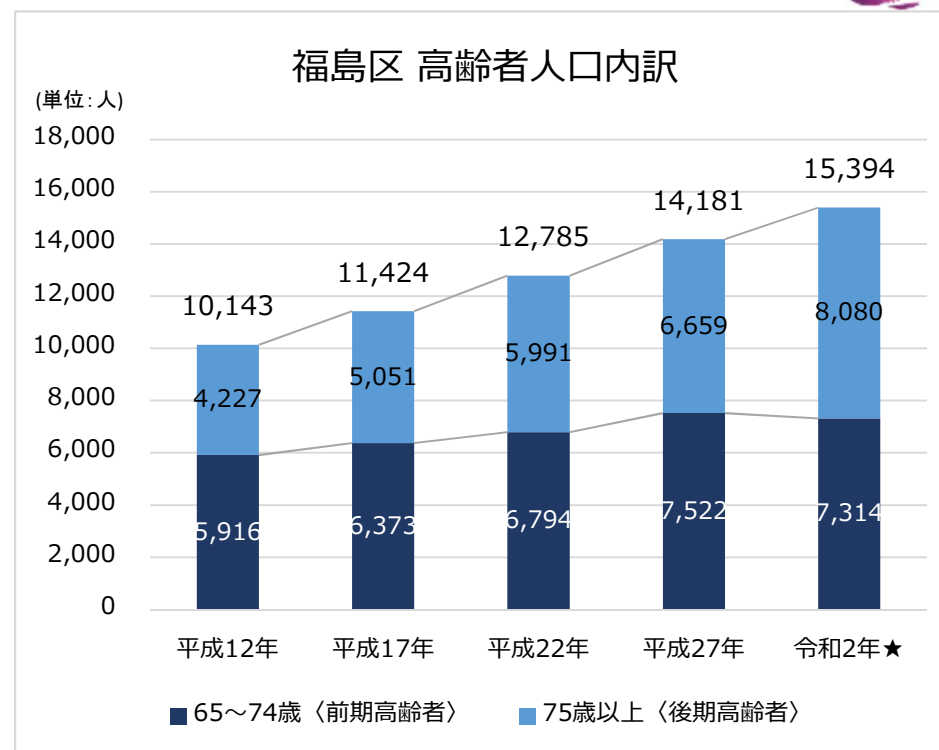
福島区役所においても、区内の学校園や地域の実態を把握し、安全で安心できる教育環境の実現や、学力・体力の向上などの教育課題を解決するための各種取組を進めています。



7 地域福祉

福島区における令和2年の前期高齢者(65～74歳)数は7,314人、後期高齢者(75歳～)数は8,080人、高齢化率は19.3%となっています。

高齢者人口の増加とともに一人暮らしの高齢者が増加しており、地域での見守りなど支え合うことができるコミュニティづくりが必要です。



※上記は国勢調査による
★令和2年は速報値

8 各種検診・健康診査

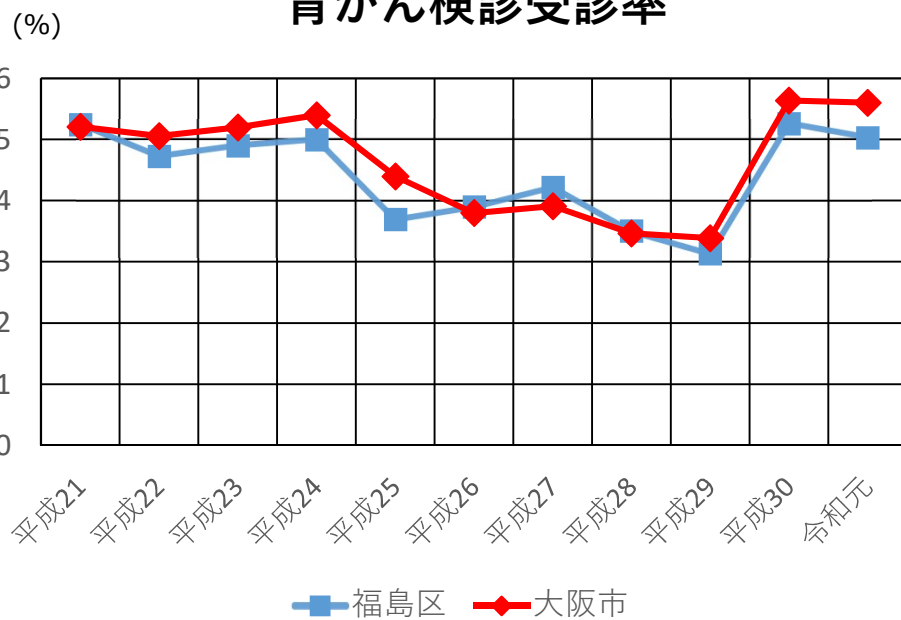
福島区においては、各種がん検診、骨粗しょう症検診など、様々な検診のほか、健康診査を実施しています。

福島区と大阪市全体とのがん検診の受診率比較(次ページ参照)では、胃がん検診で受診率が下回っている状況です。

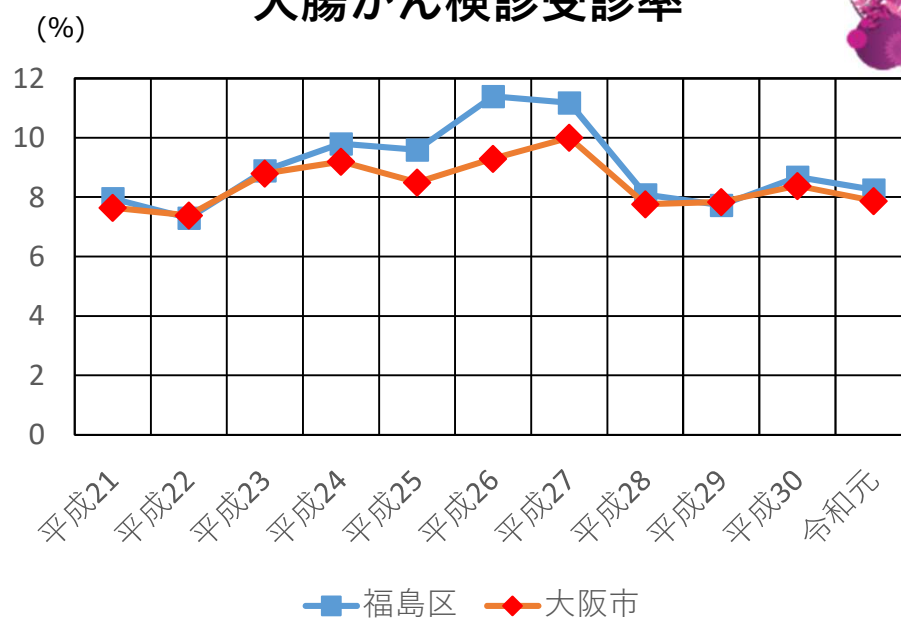
がん検診が定期的に受診されるように更に広報を行うなど、自分自身の健康に対する関心を高めることが課題となっています。



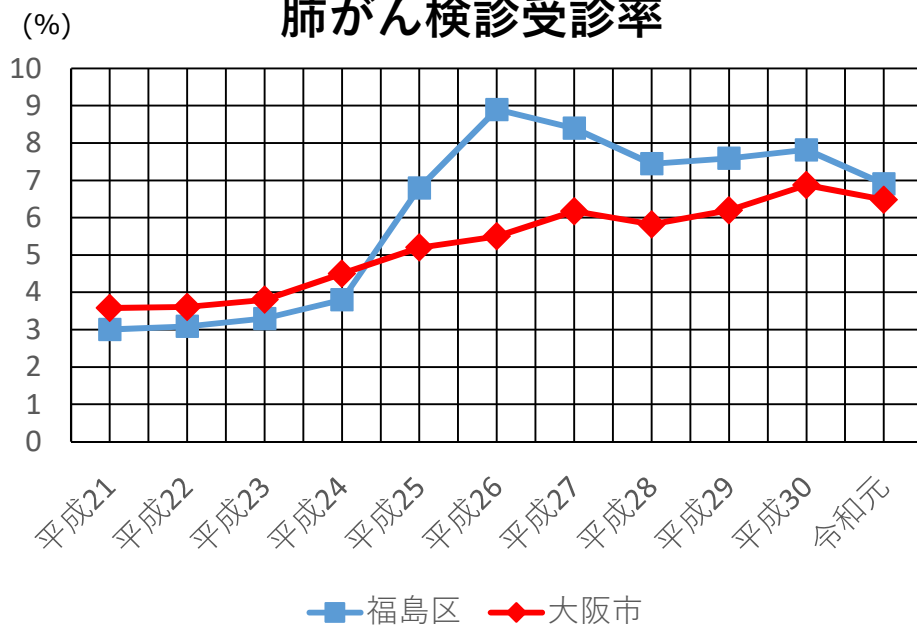
胃がん検診受診率



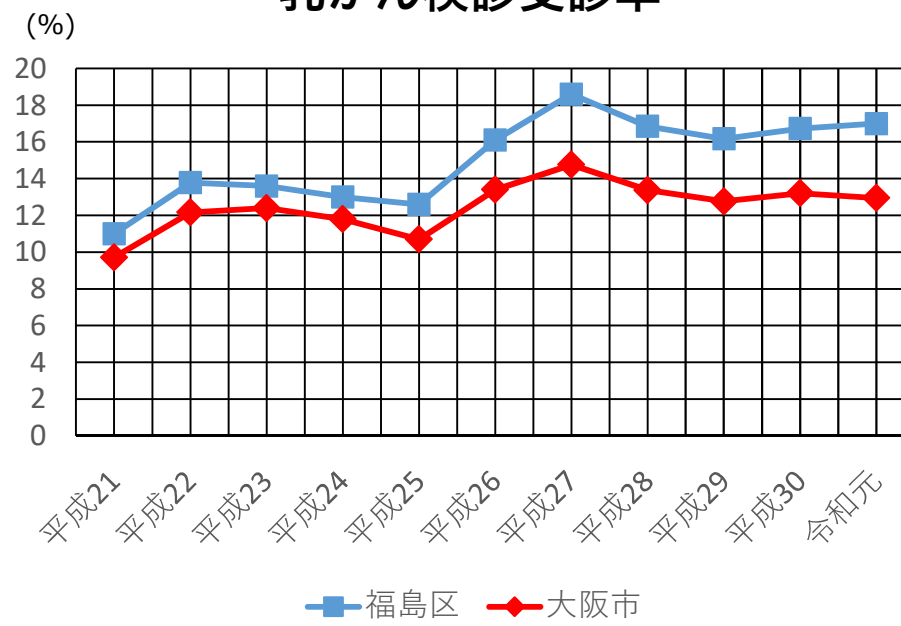
大腸がん検診受診率



肺がん検診受診率



乳がん検診受診率



9 地域の魅力と活性化

「のだふじ巡り」をはじめ区
の特性を活かした各種イベント
を実施するとともに、花とみど
りのまちづくりに努めてきまし
た。

引き続き、地域住民や企業、
商店街等との連携を一層深め、
魅力あるまちをめざし取り組む
必要があります。

